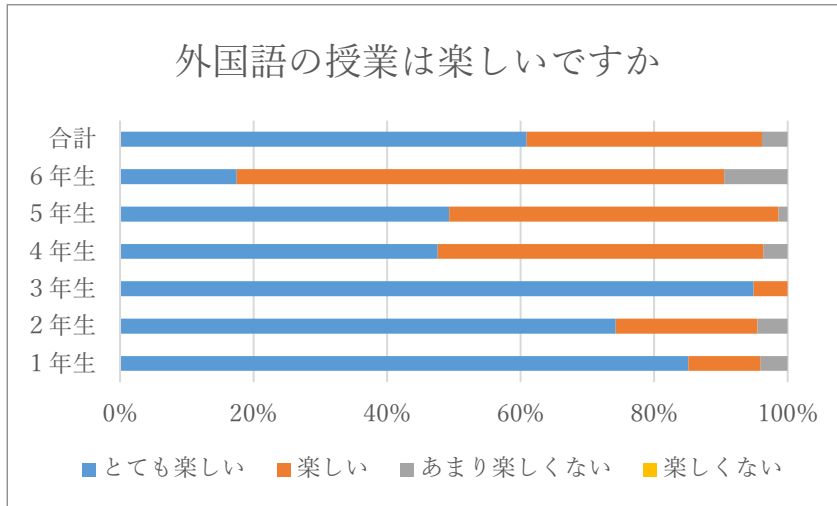


令和2年度 外国語科に関する調査結果

天草市立亀川小学校

【児童へのアンケート結果より】

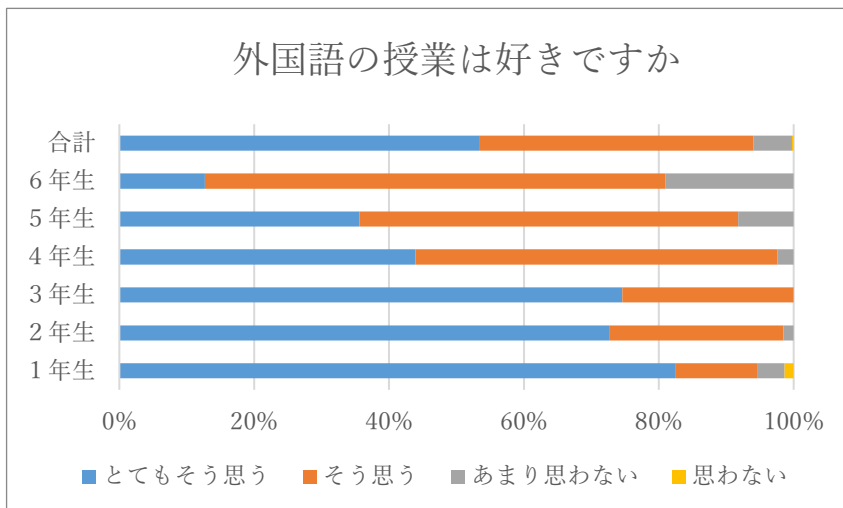
(1) 外国語の授業は楽しいか。



学校全体のうち約96%の児童が、外国語科の授業は楽しいと答えている。

外国語科の授業では、基本文の定着を図るために、ゲームだけでなくインタビューなどのやり取りや発表などの活動を取り入れ、楽しく意欲的に活動できる学習が展開されている。

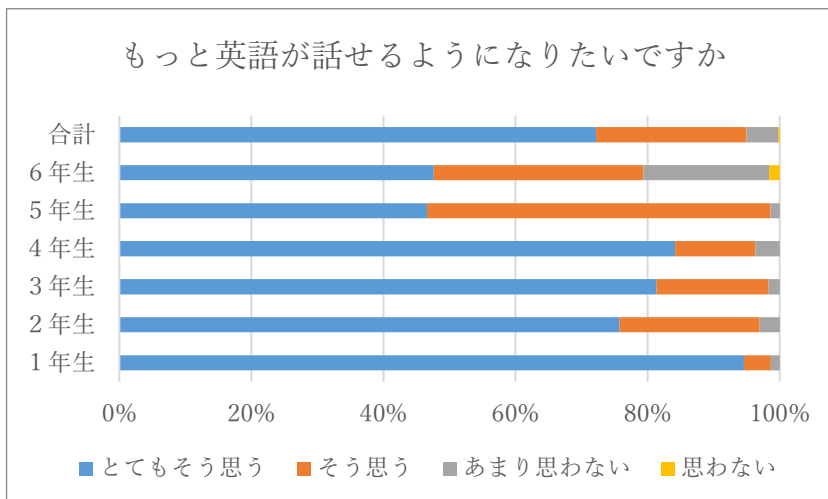
(2) 外国語の授業は好きか。



学校全体の約94%の児童が、外国語科の授業は好きと答えている。

外国語科の授業では、帯活動であるコミュニケーションタイムや Small Talk で教師や ALT、友達と交流する活動や、歌やフォニックス、ALT による文化紹介など様々な活動が展開され、児童の学習に対する意欲を高めている。

(3) もっと英語が話せるようになりたいか。



学校全体の約95%の児童が、もっと英語を話せるようになりたいと答えている。

英語を使って教師や ALT、友達と交流する活動だけでなく、校外の ALT に自分の住む地域のよさを伝えたり、中学校の英語の先生への自己紹介ビデオ作成等、体験的な活動を行ったりして英語で伝える喜びを感じている児童が増えた。

【保護者・学校関係者から】

- 数字や色、食べ物、動物、英語の歌など楽しみながら英語に慣れ親しんでいる子供たちの姿を見て、小学1年生から外国語科の授業があるのは、自然と英語の力が身に付くのでとてもいいと思う。
- 英語専科の先生だけでなく、ALTや英語指導補助教員の先生方とも一緒に外国語科の学習をすることで、外国の人の英語の発音を耳にすることができるので、恵まれた教育環境に感謝している。
- 小学校の1年生から英語を聞いたり話したりすることを楽しみながら学習し、書くことも小学校中学年から学習しているので、このように低学年のうちから英語に親しんでいたら中・高学年になっても苦手意識がなく受け入れやすくなるし、中学生になっても受け入れやすいと思う。
- 子供たちの様子を見てみると、子供たちの方が大人よりも外国の人に会ったとき躊躇することなく挨拶や会話を笑顔で交わすことができている。